

6Gに向けた新たな伝送技術と国内外の研究動向

◆日時: 2024年06月12日(水) 13:00~17:00

◆会場: 【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき46,200円(税込)

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で49,500円(税込))

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 早稲田大学 理工学学術院 基幹理工学部 電気物理システム学科 教授 博士(工学) 川西 哲也 氏

5Gのサービスが端緒についたばかりですが、すでにBeyond 5Gや6Gに向けた議論が国内外ではじまっています。Beyond5G/6GではTbps級超高速伝送をどこでも、何にでもつながるといった機能が期待されています。このような超高性能を実現するためにはこれまでの光ファイバや電波による通信を高度化させ、シームレスに融合させていくことが重要になります。これに加えて、テラヘルツや空間光通信といった新たな通信手段の活用も検討されています。本セミナーでは、これまで広く使われてきたマイクロ波に加えてテラヘルツ帯までを統合的に活用する無線伝送技術と多種多様な伝送媒体を融合するための技術、また、これらを規格化していくための課題について紹介したいと思います。

1. Beyond 5Gをめぐる海外動向と日本の立ち位置

1-1 欧州、北米の動向

1-2 北東アジア(日本含む)の特徴と海外動向

1-3 東南アジアの取り組み(タイ、マレーシアなど)

2. 通信システムの概要

2-1 通信ネットワークの発展

2-2 多重化と多値化

2-3 ネットワークによる波形の転送

2-4 5Gの概要と利用シーン

2-5 通信と測定技術

3. 高速デバイスの発展

3-1 電子デバイス・光デバイスの高速化

3-2 光と電波を必要とところに伝える

3-3 高速通信のためのデバイス

4. 6G-次世代通信技術

4-1 6Gへの期待

4-2 6G実現への課題

4-3 6G実現のための要素技術

テラヘルツ・ミリ波の開拓

新たな光通信帯域

5. テラヘルツシステムの設計例

5-1 テラヘルツ通信の応用分野

5-2 300/500GHz伝送システムの設計例

5-3 テラヘルツ帯における電波干渉

5-4 テラヘルツデバイスの研究動向

5-5 テラヘルツ帯の国際標準化

6. 新たな光ファイバ伝送技術

6-1 空間多重化技術の進展

6-2 マルチモードファイバの活用

6-3 無線と光を融合するためのデバイス技術

『6G【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● Webセミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>